

基礎交付金事業実績書

団体名：東郷地区コミュニティ推進協議会

1 総事業費 2,069,213 円

2 事業内容

(1) 事業名 地域づくり活動情報発信事業

事業費	36,300 円
事業内容	<p>◆HPの更新（情報発信）およびコミュニティだよりの定期発行 実施：年間 内容：HPにて各教室の開催状況等をタイムリーに発信。また、紙媒体で毎月1回コミュニティだよりを発行し、イベントや教室等開催の情報発信。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オオムラサキに係る情報発信を通じて、関心のある方々が訪問されPRおよび交流につながっているものと認識。 （仙台市の住吉台小学校から照会があり、令和5年4月にオオムラサキの幼虫を譲渡する運びとなり、ネットワークの広がりにも寄与） ・各教室の開催状況はタイムリーな発信に努めたが、子ども農園等のイベントは、HPでの情報発信が滞ってしまったため、次年度以降は効果的な発信に努めたい。 ・紙媒体での広報は読者が限定的（高齢者層）であり、SNSを活用した効果的な情報発信が急務と捉える。

(2) 事業名 学社融合事業（青少年育成事業）

事業費	380,924 円
事業内容	<p>◆東郷小PTAウォークラリー協働 開催日：10月29日（土） 場所：東郷公民館（運動広場）および大嶽山 参加者：児童57名、保護者38名 計95名（スタッフ除き） 内容：昨年度に続き、協働の意思を示し実行委員会へ参画し、大嶽山に係るクイズを提案、当日はチェックポイントでのクイズ出題および参加児童へ懐かしい駄菓子の詰合せをプレゼント。</p> <p>◆東郷地区の未来につながる標語コンテストの実施（表彰式&除幕式） 開催日：3月3日（金） 場所：東郷公民館（構内） 参加者：13名（最優秀賞受賞児童3名、保護者および役員等10名） 内容：東郷地区の未来（夢）につながる標語を東郷小学校の協力を得て4～6年生の児童から募集。 応募作品総数71点から、各学年より最優秀作品1点を選考し、表彰式および看板表記（構内設置看板の張替え）の除幕式を挙げる。</p> <p>◆親子教室（流木アート）の開催 開催日：3月4日（土） 場所：東郷公民館 参加者：23名（児童および未就学児13名、保護者6名、他4名） 内容：親子での共同作業を通して、子どもの想像力&創造力を育みつつ、子どもの新たな一面を発見してもらうことを目的として、みな・みかた楽集会との協働による流木アートを開催。</p>

事業成果	<p>○東郷小PTAウォークラリー協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、数少ないイベントであり、参加した児童達は一同に楽しんでいった様子であった。 ・今回、実際に興福寺等の建造物を目で確認して考えさせるクイズを提案し、採用され、豆知識として付与できたことは評価したい。 ・子ども達の郷土愛の育みにつながる取組みは重要であり、次年度以降も同行事が継続される場合、PTAとの良好な関係を進展させ、自分の目で確かめて思考するという場面を一層盛り込んでいく工夫が必要と思われる。 <p>○東郷地区の未来につながる標語コンテストの実施（表彰式&除幕式）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標語の募集は4～6年生（児童数73名）に限定して行い、71点が応募され、一定の関心があったものと推察。 ・入賞選考にあたっては、客観的妥当性を担保するため、選考委員による評点制を用いた結果、円滑かつ公正に選定されたものと認識。 ・最優秀賞受賞児童から「これからの東郷の未来を考えながら過ごしたい」「地域の絆を大切にして生活していきたい」「賞状をもらえる機会がなく、選ばれて本当にうれしい」との感想が聞かれ、各受賞児童も喜んでくれたものと思われる。 ・標語看板は構内の環境美化にもつながり、地域住民の目に止まり、ひとりでも多くの住民の意識の高揚につながっていくことを期待したい。 <p>○親子教室（流木アート）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の創造力には目を見張るものがあり、画一的な工作とは異なり、感受性豊かな作品が数多く完成し、開催の目的は達成されたものと認識。 ・全員、2時間、集中力を切らすことなく工作していた雰囲気であり、子ども達の一生懸命さに感動を覚えた。 ・今後は児童を対象とした取組みを拡大していきたいと考えるが、子ども達が能動的に参加してみたいイベント等は何かを熟考しなければならないと思われる、子ども達のニーズを把握してやる必要があると認識。
------	---

(3) 事業名 地域活動事業

事業費	303,906 円
事業内容	<p>◆ふれ♡隊活動 活動日：5/24（火）、6/13（月）、9/21（水）、10/12（水）、11/10（木）、11/25（金） 場 所：各行政区集会所（公民館） 活動団体等：4行政区の老人クラブ（2つの老人クラブは、2回開催） 参加者：延べ88名 内 容：ボッチャ、ストラックアウト、東郷地区に関わるクイズ、登米市に残る街頭紙芝居をツールとして、地域住民相互および公民館職員とのふれあい。</p> <p>◆花いっぱい運動 （各行政区） 取組み期間：6月～12月 場 所：各行政区花壇等 活動自治組織：7行政区 参加者：延べ222名 内 容：快適な環境美化に資するため、各行政区が行う花壇の植栽等に要する経費に対して補助金を交付。 （東郷公民館） 開催日：6月10日（金） 場 所：東郷公民館（定住センター脇花壇） 参加者：14名（役員および事務局） 内 容：環境美化の一環として、構内花壇の整備および花卉を植栽。</p>

	<p>◆清掃作業（東郷公民館周辺の清掃活動） 開催日：12月8日（木） 場 所：東郷公民館周辺 参加者：14名（役員および事務局） 内 容：年末奉仕作業として、役員中心による構内外（側溝等）の清掃を実施</p> <p>◆自主防災組織へのサポート 実施日：7月31日（日）、11月6日（日）、11月20日（日）、12月4日（日） 場 所：各行政区集会所等 活動自治組織：5行政区 参加者：延べ649名 内 容：5行政区が主体的に実施した自主防災訓練（避難、応急手当、消火等訓練）に対して補助金を交付。</p>
事業成果	<p>○ふれ♡隊活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度より活動を開始し、徐々に認知され、前年度実績2件、参加者29名、本年度は6件、参加者88名と大幅に増加したことは、本取組みを通じて親睦および交流の輪が広がっているものと捉える。 ・一方、活発に活動している行政区や老人クラブが限定的な状況となっており、効果的な普及活動も必要と思われる。 <p>○花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内8行政区中、7行政区が前年度に引き続き取り組みを継続し、延べ200名以上の住民が参加していることは環境美化活動を通じて親睦を深めているものと捉える。 ・児童も多数参加し、世代間交流にもつながっているものと認識。 <p>○清掃作業（年末年始奉仕作業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例で実施しており、公民館周辺の側溝や花壇等を中心に清掃活動を行い、環境整備につながったと捉える。 ・経年劣化が進んでいた娯楽教養室の障子の張替えを同時に行えた点も美化につながったものと認識。 <p>○自主防災組織へのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な地震が令和4年3月に発生し、災害に対する住民の意識も高揚している中、各行政区が主体的に訓練を実施。一般的な訓練に加え、炊き出しや応急手当訓練をメニューに組み込み、より一層身になる訓練を充実させている行政区もあり、評価したい。 ・複数年、訓練未実施の行政区が数区あり、訓練必要性の訴求に努めたい。

(4) 事業名 自治組織等活動奨励補助事業

事業費	90,000円
事業内容	<p>◆自治組織が主体的に行う行政区内のイベントに対する補助 実施日：6月19日（日）、11月20日（日）（2行政区実施） 場 所：各行政区集会所等 活動自治組織：3行政区 参加者：延べ165名 内 容：行政区が主体的に地区内住民の親睦と交流を目的に企画・実践した取組み（各種スポーツ大会）に対して補助金を交付。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・定量的評価として、実施行政区数：3区 前年比較+1となった。 ・3行政区が主体的にスポーツ大会（ユニカール、ボッチャ、ガンバルーン、グラウンドゴルフ）を開催、区内の老若男女が一同に会し、世代間交流を図っている取組みは奨励した成果と捉える。 ・ある行政区では、母親がプレーをする際、その幼児をチーム内で交代で面倒を見ていた行為は印象的で、所期の目的につながった場面であったようで微笑ましい情景であったとの実績報告があった。

(5) 事業名 ふれあい軽スポーツまつり事業

事業費	139,707 円
事業内容	◆ガンバルーン東 GO! 開催 開催日：2月19日（日） 場 所：東郷公民館（大集会室） 参加者：148名（事務局4名含む） 内 容：年内の10月に開催予定であったスポーツまつり（運動会）がコロナ禍に配慮し中止。その代替事業として屋内でのバルーン&ストラックアウト競技を企画・立案のうえ実践。 初競技であったため、スタート時は若干戸惑いも見受けられたが、ゲームを重ねる毎に円滑に競技は進行し、予定どおり終了。
事業成果	・コロナ禍および台風の影響により、4年ぶりの開催で参加者は久しさを感じている様子も伺え、実践できたことに安堵。 ・老若男女関係なく楽しめる要素を持ち合わせている軽スポーツであり、バリエーションは工夫しだいで広がると思われる。 ・細かな課題等は生じたものの、総じて和気あいあいと親睦・交流を深めていた雰囲気を感じ取り、趣旨に沿った形で終了し盛会裏であったと捉えたい。

(6) 事業名 環境整備事業

事業費	117,544 円
事業内容	◆東郷小2年生オオムラサキ観察会対応 対応日：7月7日（木） 場 所：オオムラサキハウスおよび東郷公民館 参加者：21名（児童19名+教諭2名） 内 容：東郷小2年生の総合学習の一環として、オオムラサキの羽化シーンの上映およびパンフを用いた生態等の学習や成虫を実際に観察するカリキュラムをサポート。 ◆オオムラサキハウスおよびメダカ池の保守管理および観察対応 期 間：年間 内 容：オオムラサキハウス内の除草等の環境整備およびメダカ水槽の保守管理を実施。 観察要望に対して、オオムラサキへの関心や興味が膨らむよう対応。
事業成果	・東郷小児童の対応は、オオムラサキへの興味や関心が少しでも高まるよう、一年の成長過程が見えるパンフを作成・掲示したことは僅かでも知識の習得につながったものと捉える。 ・オオムラサキハウスでは成虫が元気よく羽ばたき、児童たちは歓声を上げるとともに熱心に観察していた様子であり、総合学習に寄与できたものと捉える。

(7) 事業名 子ども農園事業

事業費	122,238 円
事業内容	◆植付けの陣 開催日：6月4日（土） 場 所：借用田および畑（東郷公民館近隣） 参加者：26名（うち児童12名） 内 容：子ども達が農業体験を通じて、自らが手をかけた農産物の貴重さや収穫の喜びを体感 させることを目的として、サツマイモ・ポップコーン、水稲の植付けを体験。 ◆収穫の陣 開催日：10月22日（土） 場 所：借用田および畑（東郷公民館近隣） 参加者：51名（うち児童27名）

	内 容：春に植付けした作物の収穫および千歯ごきを体験。併せて、餅つきを体験。
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定量的評価として、参加児童数：対前年比較 植付け△10名、収穫△2名となった。 ・ 前年と比較し、参加児童数は減少したものの、植付けの陣では農産物に係るクイズ大会を行い、収穫の陣では千歯ごき、サツマイモ掘りの「一番でっかいで賞」を新たに企画するとともに、焼き芋をその場で提供したことにより、例年以上に子ども達は楽しんでくれた様子であった。 ・ 急遽ではあったが、Jr リーダーおよびびいすかんぱにいのサポートを得て、円滑な運営につながった点も成果と捉えたい。 ・ 新たなレクを追加したことにより、マンネリ化を抑制することができたものと思われる。

(8) 事業名 高齢者支援事業

事業費	88,870 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆独居高齢者へシクラメン贈呈 贈呈日：11月24日（木）～25日（金） 対象者：66名 内 容：65歳以上かつ独居者へ各区長の協力を得て、シクラメンを贈呈。 ◆東郷福寿大学皆勤者へ皆勤賞進呈 贈呈日：2月16日（木） 場 所：東郷公民館 対象者：皆勤者31名 内 容：大学開講式から閉講式まで計6回を受講した皆勤者を労いプレゼントを準備し進呈。
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ○独居高齢者へシクラメン贈呈 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年は不織布でラッピングするとともに、メッセージカードを添えたスタイルにて対応したところ、好感を得られた。 ・ 前年度と比較し、花にも樹勢がありサイズ感も大きいとの声が聞かれたことは発注先の登米総合産業高校へ感謝の意を表したい。 ・ 新型コロナウイルス感染症が拡大傾向最中での贈呈となり、対象者にとってはひとときの和みになったものと推察。 ○東郷福寿大学皆勤者へ皆勤賞贈呈 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当地区の高齢者層は活発に活動しており、長寿の源にもつながっていると感じる。 ・ 第1～6回まで会員83名中31名（37.3%）が皆勤となり、出席率が高く、毎回催しを楽しみにしていたことが伺えた。

(9) 事業名 先進地移動研修事業

事業費	46,399 円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆東六郷コミュニティセンターおよび那智が丘公民館訪問 開催日：7月8日（金） 場 所：東六郷コミュニティセンター（仙台市）&那智が丘公民館（名取市） 参加者：13名（当協議会役員10名および事務局3名） 内 容：東六郷コミュニティセンターではひがろくメダカプロジェクトの講話を宮城教育大学の棟方准教授より受講。 那智が丘公民館では文科省表彰最優秀館受賞に至った取組み等の講話を受講。 ◆先進地移動研修振り返りワークショップ 開催日：8月3日（水） 場 所：東郷公民館

	<p>参加者：10名（当協議会役員7名および事務局3名）</p> <p>内容：研修後1ヶ月が経過し、気づきや参考になった点等を共有し、当地域づくりへの応用を図るべく、ワークショップを開催。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修は参加した役員の気づきや意識の高揚につながったものと思われる。 ・ひがろくメダカプロジェクトは固有の井土メダカの保存を通じて、市民に身近な自然環境保護に目を向けてもらえるよう、長いスパンで着実に取り組みを前進させていることに共感。当地域もメダカを通じた環境保全の取組みを検討していきたい。 ・那智が丘公民館は明確なビジョンを掲げ、そのビジョンを地域住民と確実に共有し、合意形成を図りながら課題解決に取り組んでいる過程に共鳴。キーワードは「やり続けること（継続性）」「子どもたちの視点を重要視（父兄が必然的に関わってくる）」と捉え、当地域づくりに活かしたい。

(10) 事業名 ふれあい交流まつり事業

事業費	387,947円
事業内容	<p>◆ふれあいあじさいまつりの運営（南方コミュニティ運営協議会主催）</p> <p>開催日：7月2日（土）</p> <p>場所：大嶽山交流広場および東郷公民館（定住センター）</p> <p>参加者：約500名</p> <p>内容：大嶽山交流広場を会場として、町内の小中学校（4校）の児童・生徒による伝統芸能・吹奏楽を披露。また、輪投げ等各種ゲームコーナーの運営および地元商工会等による物販。</p> <p>併せて、東郷公民館を会場としてオオムラサキハウスの開放と孵化シーンの上映、成長過程のパネルを展示。</p> <p>◆ふれあい収穫まつりの運営（南方コミュニティ運営協議会主催）</p> <p>開催日：11月5日（土）</p> <p>場所：南方総合支所前</p> <p>参加者：約630名</p> <p>内容：あじさいまつり同様、町内小学校（3校）の児童による伝統芸能を披露。また、輪投げ等各種ゲームコーナーの運営および地元商工会等による農産物等の販売。（外部委託によりマジックショー開催およびスーパーカーを展示）</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・2つのまつりとも新型コロナ感染症拡大の影響が懸念される中、感染予防を講じながら、新たな取組みとして、3コミュニティ（東郷・中央・西郷）および行政との共催で運営。コロナ禍で軒並みイベント等が中止される中、多くの参加者から感謝の声も聞かれ、盛会裏に終えたことは世代間交流につながったものと捉える。 ・あじさいまつり時は、オオムラサキの観察会も併催したが、メイン会場との導線上の課題もあり、集客は期待したとおりにはならなかった。

(11) 事業名 コミュニティ組織運営費

事業費	355,378円
事業内容	<p>◆協議会組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員および集落支援員のがんばる地域づくり応援事業に係る業務（時間外手当等）および備品等購入に対して執行。 ・地域巡回等に用いるリース車の維持管理経費として執行。
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、地域内住民が一同に会するイベント等は中止を余儀なくされ、その代替事業の企画・立案・実践に努めた結果、効果的な事業を展開できたものと認識。